

(別紙5)

整理番号 2018P-157
補助事業名 平成30年度 ひきこもり・不登校に対する支援活動補助事業
補助事業者名 特定非営利活動法人 KHJ全国ひきこもり家族会連合会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

ひきこもり当事者が孤立せず自ら活躍の場を持つために、新たな「資源の構築」と「情報発信」をし、もって社会福祉の増進に寄与する。

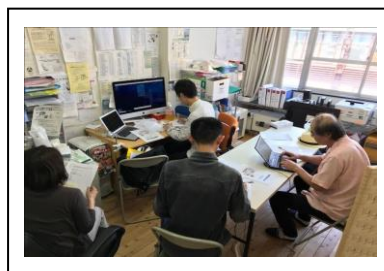
(2) 実施内容

①資源の構築事業(<https://www.khj-h.com/meeting/jipro2018/telework/>)

在宅ワークの説明会を開催し、作業員（ワーカー）を募り、アンケート入力やテープ起こしなどをしました。



説明会



テープ起こし

②情報サイト・冊子制作事業(<https://www.khj-h.com/meeting/jipro2018/booklet/>)

関東の家族や本人たちで、家族会11か所を調査、冊子にまとめました。



グループコスモス調査



町田家族会調査

(別紙5)

③シンポジウムの開催 (<https://www.khj-h.com/meeting/jipro2018/symposium/>)
大阪と東京でシンポジウムを開催しました。



関西



関東

2 予想される事業実施効果

① 資源の構築事業

数は少ないですが、テープ起こしやアンケート入力、チラシデザインなどの在宅ワークの依頼や作業が続いています。全国（特に地方都市等）から、サイトを見て在宅でやってみたい、情報が欲しいという声が届いています。支援関係者から、在宅ワークへの問い合わせがあり、働き方の多様性について理解が促進されています。

② 情報サイト・冊子制作事業

今回の調査は関東の支部を対象にしましたが、関わった調査員や見た支部から、支部以外の家族会や居場所と、関東以外の家族会や居場所の調査をしたいとの声が上がっています。また、支援関係者から家族会や居場所の情報が欲しい、マップを多くの方に届けたいという声が届いています。（普及促進）

③ 自分らしい生き方シンポジウムの開催

大阪と東京での開催を知った地方の支部の方から「小さくてもいいので開催してほしい」との声が届いています。別の都市で、多様な生き方を発信するテーマのシンポジウムが開催されることとなり、本事業での登壇者を招いて行うこととなった。共通のテーマでネットワークの広がりが期待される。

(別紙5)

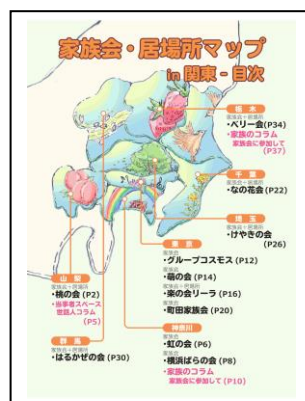
3 補助事業に係わる成果物

(1) 補助事業により作成したもの

②情報サイト・冊子制作事業

ひきこもり家族会・居場所マップ

(<https://www.khj-h.com/meeting/jipro2018/booklet/>)



③シンポジウムの開催事業

要旨集&自己表現スペース作品集 in 関西 in 関東



(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

ワーカーとワークのマッチングサイト

<http://jipro.khj-h.com/> (URL)

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 特定非営利活動法人 KHJ全国ひきこもり家族会連合会

(ケイエイチジェイゼンコクヒキコモリカゾクカイレンゴウカイ)

住所： 〒170-0002 東京都豊島区巢鴨3-16-12-301

代表者： 理事長 伊藤 正俊 (イトウマサトシ)

担当部署： 自分プロジェクト 本部事務局長 上田 理香 (ウエダリカ)

電話番号： 03-5944-5250 F A X： 03-5944-5290

E-mail: jka2018@khj-h.com U R L: <https://www.khj-h.com/>